3

概念セット数

- 16 財務会計の概念フレームワーク
- 17 会計方針の開示、会計上の変更及び誤謬の訂正
- 18 金融商品会計

# 19 連結会計

### 基準公表の経緯

連結財務諸表作成における一般原則等

連結財務諸表作成における一般基準

連結基礎概念

連結貸借対照表の作成基準

連結損益計算書等の作成基準

注記事項

連結基礎概念から理論的に整合する会計処理方法等

20 持分法会計

# **読み方、理解の仕方のポイント** 21 包括利益の表示

- 22 関連当事者の開示 連結基礎概念 ②P90
- 23 外貨換算会計
- 24 ストックオプション
- 未実現利益消去 ②P101 25 固定資産の減損

連結実	体を巡る2つの説		
	親会社説	②P90	連結F/S:親会社F/Sの延長 非支持:外部者
	経済的単一体説	②P90	連結F/S:親会社F/Sとは区別 非支持:持分保有者
支配獲	得時の子会社資産負債時価評価の2つの考え方		
	部分時価評価法	②P93	親会社の投資の際の親会社持分を重視
	全面時価評価法	②P93	親会社の支配の結果、子会社が連結集団に入った事実を重視
のれん	の計上の2つの考え方		
	買入のれん説	②P94	非支持に対応するのれん計上ダメ
	全部のれん説	②P94	非支持に対応するのれん計上すべき

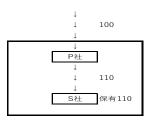
親会社説: 非支持は外部者 経済的単一体説: 非支持は親会社株主と同等の持分保有者 という位置づけをいつも出発点にして、

親会社説

親会社説

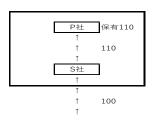
対立する会計処理を説明できるようにする、というのが連結の論点のすべてです。

### ダウンストリーム



利益	7 資産	7
経済的単一体説		
利益	10 資産	10

### アップストリーム



利益	7 資産	
经济的第一体	급ద	
経済的単一体		
経済的単一体 利益	10 資産	1

# ©=t,

### 連結会計基準 全体像

### 一般基準 ②P87

子会社の判定基準→持株基準 or <u>支配力基準</u> 連結の範囲→除外規定と除外可能規定 連結決算日→必ず親会社合わせ 会計方針の統一→子会社合わせもあり得る

②P90~

<連結実体の捉え方>

# 親会社説

連結F/S=親会社個別F/sの延長上 非支配株主持分:連結実体の外部者

# 経済的単一体説

連結F/S:親会社個別F/sとは区別 非支配株主持分:連結実体の持分保有者

→基本的には**親会社説**による取扱い(ということになっている…) 「比例連結」☆☆★★ 親会社説を徹底化した例 → (基本的に親会社説といいつつ、半分は経済的単一体説による扱い)

ightarrow(基本的に親会社説といいつつ、半分は経済的単一体説による扱い)ightarrow(ightarrow(ightarrow(ightarrow05の表を参照)

右の表において、●【(親会社説) or (経済的単一体説)】 という書き方でどちらの説を採っているか示しています。

### 連結BS ②P92

### 支配獲得時における資本連結

子会社の資産負債の評価→●【部分時価評価法 or <u>全面時価評価法】</u> 子会社に対する投資(の測定法) 投資と資本の相殺消去☆☆★★★→●【買入のれん説 or 全部のれん説】

#### 非支配株主持分☆☆☆★★★

②P95は非支配持分を株主資本と区別して記載する理由を書いています!
→ちなみに、IFRSでは非支配株主持分を株主資本の一部と考えれています P96※38
非支配株主持分の測定方法→ J-GAAP:子会社資本ベース IFRS:子会社時価ベースか子会社資本ベース (この論点の重要性☆☆★★★→日本基準論点整理はしばしば論文式で問われます)

### 子会社株式の追加取得及び一部売却等☆☆☆★★★

非支配株主との取引の考え方→●【損益取引 or <u>資本取引</u>】

連結会社相互間の債権債務相殺消去☆☆★

## 連結PL ②P100

連結会社相互間の取引高の相殺消去☆☆★

#### 未実現利益の消去☆☆☆★★★

●【部分消去 or 全部消去】

### 表示方法☆☆☆★★

2計算書方式、1計算書方式 どちらもOK 「当期純利益」が ●【親会社帰属分のみ or 親+非支持合算】